£d l	日夕	_	ĵ⊓ <i>j</i> i=	;=\./-	ぎ 其	пТ							
科目名科目コード		プログラミング基礎:			<u>**</u> 英文表記			Programming II			2012/3/12		
教員	名:杉		英、神									1h	
技術	職員名		M2	· '				. .		- ده دید خوا	332 / 1 101		
			学科/				学年	必・		修・学修	単位数	授業形態	授業期間
	'				工学科		2年	必	•	履修	2単位	講義	通年
科目	目標	①変	数、スク	タック、	メモリ	マップ、					、プログラミ	ングを実践す	⁻ る。
総合	評価						間・期末)の 評価の平均				30%とする 格とする。)。	
標と		科目達成度目標(対応するJABEE教育目標) 達成度目標の)評価方法				
		① プログラムのコーディング・コンパイル・リ ⇒ 正しく説明できるか定期試験および講義での課 ンク・実行・デバッグについて修得する。											
	度目 ·誣価	2	ライブ 得する		関数の	利用形	態について	で修				明試験および こより評価する	
	法	③ 変数、スタック、メモリマップ、mallocにつ ⇒ 正しく説明できるか定期試験および講義での調 取て修得する。 並に対する回答状況により評価する。											
		4	型とす			・文字	列とポイン	タ、構 ₌				朗試験および こより評価する	
			1		1								
	専攻科 『目標	0	2	3	4								
要、履修	業概 方針、 ≩上の ≘意	例題 演回 実河	を通じ 養通じ 講義と 時間は	て注意 て、基 式と派 ソース に個り	点にて 本的な 寅習問! スード 別指導	Oいて 構文の 題への を提出 や対応	解説し、各自 復習から 取り組みの させること を通じ、不	のPC 画像処理 形式で こよりプ 明な点	でプログ 里応用例 進め、「 ログラミ や理解で	ラムの作用までを与 関目修了 シグ能力できない。	F成・コンパ・ [≜] ぶ。 時には確認 Jを修得させ	いように指導す	がバッグ等のを課し、
	科書・	「プロ 「C実	グラミ 践プロ	ング言 グラミ	語C第	[2版」(. [3版」(.	イント・プレ 共立出版が オライリー) キーワート 授	式会社	t) 吾 プロ <u>:</u>	ブラミンク	")		
週		授	業 項	Į E		時間		授	業	内容	<u> </u>		自学自習 『・復習)内容
1	と WSフ		のガイ _ク				ノラバスの				方)。 行環境の確	光道の講	表内容・演習課題の復
	プロク	ブラムの	つ作成	手順0	つ理解	2)	ノースファイ	ル作成	・コンバ	イル・実	行手順の修	得。 ^{先週の講}	習 義内容・演者課題の復 習
4	プロプロノ	グラム ブラムの	開発環 7作成	環境の 手順の	構築 7理解	2 {	各自のPC∕ PC環境での	への開	発環境を イル・生	実装する	5。 D修得		Philippi marking mais
5 6	プロク 変	ナムリティ	ノート万人	丁川内へ	ノと土月牛	2 F	しょえょ兄 じし	ノコンハ	リルス	田昭ナる	기방하		2121
		数に、	ついて	复習す	⁻る	2 3	変数につい	て復習	し、凍省	球型でル	じ理解を深	^{先週の講}	習 表内容・演習課題の復 選 表内容・演習課題の復 密
7 9		一次になってい	ついて? レスの: 中間	复習す 理解	「る	2 7	C環境での 変数につい アドレスとア プログラミン	て復習 'クセス 'グの‡	し、演省 法につし 礎知識	いて学ぶ。 に関する	じ理解を深 確認試験	先週の講 先週の講 前期中間	義内容・演習課題の復 義内容・演習課題の復 義内容・演習課題の復 義内容・演習課題の復 義内容・演習課題の復 変の講義内容・課題を
7 8 9)	スタ	中間 ックの3	复習す 理解 理解	Г <u>З</u>	2 2	プログラミン スタックにつ	·グの基 いて学	礎知識 ぶ。	に関する	近理解を深 確認試験。	前期中間 先週の講	表内容: 演省課題の後 表内容: 演省課題の後 表内容: 演省課題の後 表内容: 演省課題の後 での講義内容: 課題後 表内容: 演省課題の後
9 10		スタ メモリ•	中間 ックの3 マップ	复習す 理解 理解 の理角	「る 遅	2 7 2 7	プログラミン スタックにつ メモリ・マッフ	ッグの基 いて学 プにつし	礎知識 ぶ。 いて学ぶ	に関する	確認試験。	前期中間 先週の講 先週の講	要内容: 演習課題の後 要内容: 演習課題の後 要内容: 演習課題の後 要内容: 演習課題の後 変の講案内容: 課題後
9 10)) []	スタ メモリ・ カル婆	中間 ックの? マップ ご数の?	復習す 理解 理解 の理解 理解と	軍演習	2 7 2 2 2 5 2 5	プログラミン スタックにつ メモリ・マッフ コーカル変勢 ライブラリとリン	ッグの基 かいて学 プにつし めにつし シクにつし	礎知識 ぶ。 いて学ぶ いて復習 いて学び、	に関する。 。 。 、演習課題	は理解を深確認試験。 確認試験。 様題を通じ理解を通じ理解を浸む	前期中間 光道の講 光道の講 解を深 光道の講 深める。	報告報題の後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後 近の講義内容・課題後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後 表内容・演習課題の後
9 10 11 12 13) ロー ファ	スタ メモリ・ カル婆 イブラ! 型に	中間 ックのラ マップ 芝数のヨ 関とリン 関する	复習す 理解 理解 理解 理解と 理解と 理解	「る 翼 演習 <u>関</u> 解	2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミン スタックにつ メモリ・マップ ローカル変勢 ライブラリとリン 型の役割と	・グの基 いて学 プにつし 数につし ンクにつし キャスト	一礎知識 いて学ぶ いて学び、 いてごい	に関する。 。 演習課題 て学ぶ。	確認試験。 課題を通じ理	前期中間 先週の講 先週の講 解を深 先週の講 光週の講 光週の講 光週の講	表内容。演習課題の復 表内容。演習課題の復 表内容。演習課題の復 変の講義内容。 第四 表内容。 表内容。 表内容。 表内容。 表内容。 表内容。 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表
9 10 11 12 13) ロー ファ	スタ メモリ・ カル婆 イブラ! 型に ポイン	中間 ックのラ マップ とリン 関する	复理解 理解の理解と 理解と 理解と 理解と はずる	「る」 遅 運解 理解	2 2 2 2 2 5 2 5 2 2 5 2 2 5 2 7 2 1 2 2 2 5 2 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2	プログラミン スタックにつ メモリ・マッフ コーカル変勢 ライブラリとリン	·グの基 かいて学 プにつし めにつし ンクについ キャスト る型の	礎知識 いて復習 いて復びい につい 宣言を	に関する 。 演習課題 て学ぶ。 学ぶ。	確認試験。 眼題を通じ理 を通じ理解を認	前期中間 先週の講 光道の講 解を深 光道の講 光道の講 光道の講 光道の講 光道の講	表内容:演習課題の後 表内容:演習課題の後 表内容:演習課題の後 変の語彙内容: 変の調整の後 表内容:演習課題の後 表内容:演習課題の後 表内容:演習課題の後 表内容:演習課題の後

16 文字列と配列に関する復習	a I o	文字列と配列について復習する。	先過の講義内容・演省課題の復
17 文字列と記列に関する援	引 2 里 2	文字列とポインタとの関係について学ぶ。	習 先週の講義内容・演者課題の復
1/ 大子列このイングに関すると	生	大子列とハイングとの国际について子の。	習 先週の講義内容・演習課題の復
18 文字列とポインタに関する? 19 配列とポインタに関する理解	寅 2 诨 2	大子列とハイングについて演音話題を通し理解を沫	習 先週の講義内容・演者課題の復
19 世グリといイング に関 9 〇理月	年 Z	昨州とハインダとの関係について子ふ。	習 先週の講義内容: 演習課題の復
20 配列とポインタに関する演覧 21 文字列定数に関する理解	월 2	文字列とポインタについて演習課題を通じ理解を深 配列とポインタとの関係について学ぶ。 配列とポインタについて演習課題を通じ理解を深め 文字列定数とNULLポインタについて学ぶ。	習 先週の講義内容・演習課題の復
21	2	X子列定数とNULLホインタについて字ふ。 Zテロ環接について音ぎ	習 先週の講義内容・演習課題の復
22 メモリ領域破壊に関する理解		メモリ破壊について学ぶ。	習 後期中間迄の講義内容・課題復
23 中間 24 mallocとfreeに関する理解	2	ポインタの基礎知識に関する確認試験。	習 先週の講義内容・演習課題の復
24 mallocとfreeに関する理解	2	mallocとfreeについて学び、演習課題を通じ理解を深	習 先週の講義内容・演習課題の復
25 メモリ・リークに関する理解	2	メモリ・リークについて学ぶ。	習 光週の講義内容・演者課題の復
26 関数とホインタに関する埋態	年 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関数と戻り値、引数へのポインタについて学ぶ。	先週の講義内容・演習課題の復
27 構造体メンバとポインタに関	1 2	構造体メンバとポインタについて学び、演習課題を通じ理解を深める。	元週の講義内容 演音課題の復 習 先週の講義内容・演音課題の復
28 構造体引数に関する理解	2	構造体を引数について学ぶ。 構造体を引数について学ぶ。 構造体へのポインタ配列について学ぶ。 開選は、マンバインタ配列について学ぶ。	元週の講義内容・演音課題の復
29 構造体とポインタに関する5 30 構造体とポインタに関する3	里 2	構造体へのポインタ配列について学ぶ。	元週の講義内容 演音課題の復 習 元週の講義内容 演者課題の復
30 構造体とポインタに関する?	~	ス	元週の講教内台・演目試題の復 習
期末期末試験	[2]		
学習時間合	针 60	実時間	45
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)	標準的所用時間(試行)
自学自習(予習·復習 ① 課題演習(その週の講義内)内容(学修単位における自学自習時間の保証) った内容について演習課題を課す。)	標準的所用時間(試行) 各2時間×20回
自学自習(予習·復習 ① 課題演習(その週の講義内)内容(
自学自習(予習・復習)内容(った内容について演習課題を課す。)	
自学自習(予習·復習 ① 課題演習(その週の講義内)内容(

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)